

Takahiko Imura

飯村隆彦

クラシック & アバンギャルド

映画講座+フィルム上映 **全3回**

—飯村隆彦のフィルム・コレクションと自作DVDから

7/9 - 16 - 23 sat.

at KEN (三軒茶屋)

アバンギャルドの鬼才が
古典映画を解体!

飯村隆彦 Takahiko Imura

日本の実験映画の草分けの一人である飯村隆彦は、1960年代にハブニングのオノ・ヨーコ、画家の赤瀬川原平、作曲家の小杉武久、暗黒舞踏の土方巽らの前衛芸術家の協力で、8ミリや16ミリの前衛映画を個人で制作し、ギャラリーやホールでゲリラ的に自主上映活動を行なった。大林宣彦、高林陽一、ドナルド・リチー、石崎浩一郎らと実験映画集団「フィルム・アンデパンダン」を1964年に結成し、東京の紀伊国屋ホールで日本の個人映画史上最初の実験映画祭を行なった。1965年、オノ・ヨーコの音楽による実験映画「LOVE」がニューヨークの実験映画のリーダー、ジョン・メカスによって「ビレッジ・ボイス」紙上で高く評価され、ニューヨークにデビューした。1989年には、ニューヨークのメトロポリタン美術館の委嘱により日本の芸術に特有な「間」

を竜安寺の石庭に再発見する「Ma: Space/Time In The Garden Of Ryoan-Ji」を建築家の磯崎新(テキスト)、作曲家の小杉武久(音楽)の協力を得て制作、モントリオール映画祭、ユネスコ美術映画祭(「建築賞」を受賞)などで上映された。また、「あいうえおん六面相」では、システムG(リアルタイム・三次元テクスチャー・マッピング)を使用して、音とイメージの差延をコミカルにビデオ作品化。ニューヨーク、ジュネーブ、オスナブリュック(ドイツ)、サンパウロなどの国際映画・ビデオフェスティバルで上映され、8つの賞を受賞した。1995年に東京都写真美術館で、1999年にバリの国立ギャラリー・ジュ・ドウ・ボム、で総合的な個展を開催した。2001年、1974年以来、27年ぶりにニューヨーク近代美術館で個展を開いた。

「彼(飯村)は前衛映画界の中心の核を通りながら自分自身の独自の道を追及していたのだった。アメリカの前衛映画の運動の熱情と炎とがインスピレーションを与え、引き付けはしたが、彼が日本人に生れたというのが、映画におけるミニマリストとコンセプチュアルの可能性を妥協せずに追及していくのに決定的に働いていた。彼は誰よりも深く、映画をこの方面において追及している。」 —ジョン・メカス—

クラシック&アバンギャルド 映画講座+フィルム上映 **全3回** —飯村隆彦のフィルム・コレクションと自作DVDから

1 2011年 7/9 (土) 18:30開場/19:00開演 映画の創造と日本の実験映画のわけのぼり 講師/飯村隆彦

2 2011年 7/16 (土) 18:30開場/19:00開演 映画の創造と日本の実験映画とビデオアートのわけのぼり 講師/飯村隆彦

3 2011年 7/23 (土) 18:30開場/19:00開演 初期アニメーションと「映画の黙想のために」 講師/飯村隆彦

主催:KEN/粟津デザイン室 企画制作:飯村隆彦・粟津ケン デザイン:横山ひろあき 協力:大西健児(シネマトレイン)・山崎巖

参加料 各回/¥2,000 全3回予約/¥5,000 定員 各回/50名

会場 **KEN** | 東京都世田谷区太子堂4-8-3 B102 Tel&Fax:03-3795-1776
E-mail: info-ken@kenawazu.com
■田園都市線「三軒茶屋駅」(三茶駅南口)から徒歩6分
■世田谷線「西太子堂駅」から徒歩2分

予約 インターネット、またはQRコード対応の携帯電話から、予約申し込み専用ページにアクセスできます。

<http://www.kenawazu.com>



www.kenawazu.com

CLASSIC & AVANT-GARDE